

会 議 録

会 議 名	令和元年度第2回野田市文化財保護審議会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	1 令和元年度事業実施状況について（公開） 2 令和2年度事業計画（案）について（公開） 3 災害関連文化財の調査について（非公開）
日 時	令和2年2月19日（水） 午前10時から午前11時55分まで
場 所	市役所高層棟7階 706会議室
出席者氏名	委員 下津谷達男委員長、石田年子委員、大野要修委員、 川根正教委員、日塔和彦委員、萩原法子委員 事務局 佐藤裕教育長、宮澤一弥生涯学習部長、川野尚武 生涯学習課長、伊東和宏生涯学習課文化財係長、 星野保則生涯学習課文化財係主任主事、笹川知樹 生涯学習課文化財係主事
欠席委員氏名	高梨兵左衛門副委員長
傍 聴 者	0名
非公開の事由	指定前の物件に関する情報が含まれていたため。
委員長	(委員長挨拶)
課長	(教育長挨拶)
委員長	(川野課長から令和元年度事業実施状況について説明)
課長	除草について、関宿町時代は町の職員がやっていたが、今はどうか。
委員長	職員ではできないような所は委託している。職員が直営で行っている所もある。
課長	処刑場跡について、場所が移っている。昔は田んぼの方だったと思うが、地元の人たちによく聞いておいてほしい。
石田委員	分かった。
大野委員	もともと川の土手の向こうにあったということか。
委員長	今の場所は全然関係ない場所。今の場所に供養塔だけが移転している。昔のことを地元の人たちに話しても、覚えていない人がいないというのが現状である。
日塔委員	こういうことだから、いろいろ聞いてほしい。
	鈴木貫太郎記念館について、2月から6月までにかけて耐震診断を行ったとあるが、結果はどうか。

課 長	これは今年の2月から6月までにかけて行うものである。
日塔委員	その結果に基づいて改修を行うのか。
課 長	そうである。現在の建物を学芸員が調べたところかなり重要な建物であることが分かった。タカ夫人も建物の前で関宿小学校の児童と写真を撮ったりしているので、建物の形は今の形で、室内を展示に適した状態にしたいと考えている。
日塔委員	図面は出来るのか。
課 長	出来る。
日塔委員	図面が出来ると、登録文化財にするときやりやすくなると思う。今の話を聞くといい建物だと思うので、進めてもらえたらと思う。
課 長	登録文化財については、検討したい。
大野委員	増築という考えはあるのか。スペースが狭い。安藤大尉等の新しいものが入ってきて、その展示施設となると余計狭くなってしまふ。ただ単に改修だけではなくそういうのも考えてほしいという要望である。
課 長	狭いという意見はある。都市計画法の関係で建て替えが難しい場所のようである。
大野委員	駐車場は、隣の関宿小学校跡地が使えるのではないかな。そうすると今の駐車場の所に増築が可能ではないか。そのようなことも考えてほしい。
課 長	いろいろと検討したいと思う。
日塔委員	文化財に指定するとき問題がある可能性があるなので、よく考慮してもらいたい。
課 長	安藤大尉の資料については今のところ常設は考えていない。企画展という形で時期を区切った展示にする予定である。
川根委員	埋蔵文化財について、協議件数や確認件数が前年より減っているが、最近の傾向はどうか。
星 野	最近は個人住宅の協議が主となっている。それからここ数年物流倉庫の協議もある。それについては規模が大きく本調査となった場合の調査体制の確保が難しい。そういう場合は県と協議し民間の発掘会社等の活用も視野に入れていきたい。
川根委員	件数的には増加傾向か、減少傾向か。個人住宅を対象とするようになってからは増えているのか。
星 野	ここ数年横ばいか若干増だが、令和元年度は協議件数が減

	少している。
川根委員	確認調査を実施する市側の体制は、実際何人が確認調査できるのか。
星 野	現状では学芸員1名が対応している。非常時は2名で対応できる。作業員は個人住宅なので1名から4名ほどで対応している。
委員 長	埋蔵文化財で、岡部屋敷が出ているが結果はどうか。
星 野	めぼしいものはない。
委員 長	瓦は出なかったのか。
星 野	出していない。岡部館、明治の岡部家の末裔 ^{まつえい} の屋敷は梅の台遺跡で発掘されているが、山崎城については区画整理等でも見つかっていないし痕跡 ^{こんせき} も分かっていない。場所が違うのではないかと考えている。
委員 長	分かった。
川根委員	5ページの資料で、旧石器時代の尖頭器 ^{せんとうき} が出ている。最近、旧石器の遺跡の扱いは県の指導ではどうなっているか。
星 野	確認調査で10パーセント掘削する。1パーセント深堀をして遺構の確認をしている。それは以前と変わらない。
川根委員	当たれば本調査を実施することは可能か。
星 野	可能である。ただ、保護層という考え方も浸透してきており、例えば確認面から30センチメートルほどの保護層が保てるのであれば現状保存という扱いになることもある。
川根委員	尖頭器 ^{せんとうき} というのはたまたまか。
星 野	そうである。
	(川野課長から令和2年度事業計画(案)について説明)
委員 長	市民会館茶室の屋根の葺き替え ^{ふき} について、国庫補助と書いてある。あそこは登録文化財だが、茶室も登録文化財に入っているのか。
星 野	入っている。
委員 長	国庫補助の割合はどれくらいか。
星 野	登録有形文化財の場合、一般的に修繕の補助は付かない。

	<p>設計管理料の50パーセントについて国の補助が付く制度である。観光絡みの補助制度ができて、観光庁が関わった補助制度では修繕にも補助が付くということで手を挙げてみた。そうしたら、通常望見できる範囲、観光客が見える範囲の2面から3面について50パーセントの補助が付くというようなことを言われた。今回、その補助に手を挙げてみた。今のところ、補助を付ける方向で動いていただいている。</p>
<p>委員長 星野</p>	<p>観光でということか。 そうである。文化庁と観光庁で協力してやっている補助制度である。ただし条件があり、観光庁の補助対象の市町村でない手を挙げられない。そこに野田市が入っていて手を挙げることができた。そのほか、世界遺産、日本遺産の対象となっている市町村の建造物で、景観に寄与する建物が対象となる。</p>
<p>委員長 星野</p>	<p>50パーセントという話だが。 通常見える範囲の修理の50パーセントである。</p>
<p>課長 星野</p>	<p>裏側とかそういう所は対象外である。 一般的には4面あるうちの2面といわれていたが、市民会館の場合、庭の中にあるので3面見えるという話をしたら、</p>
<p>日塔委員</p>	<p>いいですよ、ということになった。 観光庁とのコラボレーションでやるということだが、危険性を持っていると思う。どちらが主導権を握るかによって、文化財、歴史の保存ということと違ってしまう可能性がある。今回の修理の屋根等の「等」はどういう内容か。</p>
<p>星野</p>	<p>屋根がこけら葺きで、その葺き替えが主なものになる。多少雨漏りもあるので小屋組みあるいは壁の小修繕も含んでやろうと考えている。</p>
<p>日塔委員</p>	<p>屋根の葺き替えだったら従来どおりでやると思うので問題ないと思うが、壁をどうするか。木舞や木のやり方で、それとも見栄えだけでやるのか心配である。</p>
<p>星野</p>	<p>登録有形文化財なので、恐らくそれほど細かくオリジナルの姿に戻さなくてはいけない縛りはないと思う。市としては文化財であり観光資源でもあるので、今までも屋根修繕はオリジナルの工法で修繕してきており、その流れでやっていき</p>

	たいと思う。
日塔委員	屋根は問題ないと思うが、壁については便宜的にやられると価値をなくしてしまうという感じがある。設計監理者は付くのか、付かないのか。
星 野	今の予定では国の重要文化財と同じような設計監理をお願いしたいと考えている。
日塔委員	その方がいい。
石田委員	鈴木貫太郎記念館の ^{ごりんとう} 五輪塔について、タカ夫人が亡くなる2・3年前に建てた。新しいので気にしていなかったが、去年ものを書く都合で調べたら、お経の文字で一つの石に一つの文字で書いてそれを埋めてその上に五輪塔を作っている。その内容が、明治から大戦までの全部の、あの方々が全部関わっている大戦で、その戦争全部書いて供養する。個人的な、貫太郎翁 ^{おう} を供養するとかではなく、平和祈念である。周りがバラバラで、石が飛んで壊れているので、ちゃんとした対応をしてもいいのではないか。内容が平和祈念なんで、今まで余りにも粗末に、花を供える場所もない。今、休館しているとそういうことの対応もできないのか。
課 長	休館しているからこそ副館長に資料整理を行ってもらおうと思っている。その一環でその辺りも調査することは可能だと思う。
石田委員	貫太郎翁 ^{おう} が亡くなってからのタカ夫人の動きが何も分からない。貫太郎翁が亡くなるまでは並行してタカ夫人の動きが分かるが、それ以降何十年も関宿町の文化に携わってきて、名誉町民でもあり、町葬もやっている。だけど、実際にタカ夫人が動いた痕跡が何もない。この一字一石塔を建てたときの様子が何も分からない。その記録が何もない。地元の方にも聞いたが分からない。
萩原委員	何年とか銘記があるのか。
石田委員	昭和45・6年。 平和祈念で、タカ夫人が建てたものだから余りにも石や周りが雑で汚いので少きれいにしてほしいということである。
課 長	分かった。